

令和 7 年度事業報告

広陵町社会福祉協議会（社協）では、令和 7 年度の基本方針に基づき、各方面における福祉事業等を実施いたしました。経理区分ごとにご報告いたします。

【社 会 福 祉 事 業】

I 総合保健福祉会館拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

理事会・評議員会の開催ほか、広陵町社会福祉協議会の円滑な運営に努めています。

社協会員の増員に努め令和 7 年度は 46 件（法人等 9 団体、個人 37 名）の方々にご賛同いただきました（299,500 円）。

2. 地域福祉事業サービス区分

（1）日赤募金事業

赤十字奉仕団への支援のほか、住宅火災に際して、火災見舞金、布団や毛布・日用品をお届けしております（令和 7 年度は実績なし）。各種団体等の行事開催にあたり、日赤奈良県支部に対して付添救護員や講師の派遣要請を行いました（付添救護員 3 件、講師派遣 1 件）。

また、公共施設などに義援金または救援金の募金箱を設置し、町民から寄せられた募金は、日本赤十字社奈良県支部に全額お届けしました。

（2）生活福祉資金貸付事業

県社協が実施主体となって行う事業で、貸付の手続きや助言等を行っています。22 件の相談があり、貸付実績は 3 件でした。

（3）基金預託事業

皆さまの温かいご理解をいただき、5 件、1,032,230 円のご寄付をいただきました。

（4）給食サービス

ボランティアコスモス会、赤十字奉仕団の協力により、季節にちなんだ手作り弁当を作っていただき、民生委員・児童委員協議会の方々により、地域のひとり暮らし高齢者宅へ毎月 2 回（12 月は 1 回）、昼食の配食とともに安否確認をしていただきました（年間 2,284 食 令和 8 年 3 月 2 回目の配食数は、90 食）。

(5) 福祉用具、車いす対応福祉車両貸出事業（無償）

長期臥床にある高齢者等を対象に、延べベッド8台、車いす76台、歩行器1台の貸出を行いました。

また、車いすを使用しての通院等を支援するため、車いすに乗ったまま乗降できる福祉車両の貸出を行いました（4件）。

(6) 日常生活自立支援事業

奈良県社会福祉協議会（県社協）が実施主体となつて行う事業で、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用における支援や普段の生活に必要な手続きに対する支援、日常的な金銭管理の支援等を行っています（令和7年度末現在、利用者5名）。

(7) ボランティアセンター業務

地域福祉の推進に大きな役割をもつボランティアの、自発的・積極的な活動を支援しています。

令和7年度末現在、団体として55団体（1,381名）、個人として12名の方に登録いただいています。

各ボランティアを訪問取材し、広陵町の広報誌に毎月活動内容の記事を掲載しました（23団体分）。

4月にボランティア紹介冊子（46ページ）を更新し、必要な方にお渡ししました。

【R7.4】ボランティア交流会を開催（46名参加：29団体と個人3名）

【R7.7】「Let's Try ボランティア」を開催（34名参加）。

(8) フードレスキュー（町独自）

フードバンク奈良、もったいないNARA、JAならけん広陵北支店の皆さまにご協力をいただくとともに、奈良県共同募金会の助成事業に応募し、助成金の交付を受けました。不足分については社協の財源を充て、生活にお困りの方に町独自のフードレスキューを実施しました（358件）。

また、11月にフードドライブを実施し、多くの食品を提供していただきました。

(9) 新型コロナウイルス感染症の影響による支援資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮された世帯を対象とした貸付事業は令和5年度に終了しましたが、償還の手続きを行うとともに生活相談を受け付けました。

(10) 災害発生時への備え

災害に備えて、各訓練等に参加しました。

【R7.4】「令和7年度 北葛城郡社会福祉協議会職員研修」（上牧町で開催）

【R7.8】「令和7年度 第1回葛城地域災害対策連絡会」

【R8.1】「令和7年度 第2回葛城地域災害対策連絡会」

【R8.2】「災害ボランティアセンター運営支援者養成講座」は、衆議院議員総選挙の投票日となったため中止となりました。

また、5月21日に、「公益社団法人広陵町シルバー人材センター」と、「災害時における機材等の借用に関する協定」を締結しました。町内において災害が発生した際に、当会が設置・運営する「災害ボランティアセンター」に対して、機材を迅速に借り受ける体制を構築するものです。災害時におけるボランティア活動の基盤を強化し、被災者支援の迅速化を図ります。

(11) しあわせ広場の開催

さわやかホール3階の老人福祉センターで、高齢者と0～2歳児の世代間交流「しあわせ広場」を、令和7年10月と令和8年2月に開催しました。

少子高齢化や核家族化が進む中、高齢者と子どもが関わる機会が減少していることを鑑み、高齢者が昔遊びを教え、そのお礼に子どもが歌を披露するなど、世代を超えて交流を深めました。

3. 町受託事業サービス区分

日常生活または社会生活上の支援を必要とする住民に対し、無料または低額な料金で、地域における公益的な取組を行うためにも、町から様々な事業を積極的に受託し、自主財源を確保しています。

(1) 手話奉仕員養成講座

入門編（全23回）を開催いたしました。受講生18名（再受講3名含む）のうち、11名に修了証を交付しました。

(2) 意思疎通支援事業

通院等で手話通訳が必要な方に手話通訳者の派遣を行いました（194件）。また、町内で活動される町外在住の手話通訳が必要な方に対しては、町社協独自で手話通訳の派遣を行いました（6件）。

(3) 老人福祉センター事業

さわやかホール3階の老人福祉センター（利用者数29,267人）と、グリーンドーム（利用者数695人）の管理運営業務を行いました。

(4) 会館管理事業（さわやかホール）

さわやかホール代表電話の取り次ぎ業務や、さわやかホールの会館管理業務を行いました。（利用者数17,075人）

(5) 生活支援体制整備事業

住民の皆さんが住み慣れた地域で元気でいきいきと心豊かに暮らし続けられるよう、住民の皆さん、行政、社協等が連携して、生活支援など支え合うなかまづくり、地域づくりを目指しています。

【R7.5】「広陵ささえ愛（協議体）通信」第8号発行

【R7.9】第1回広陵ささえ愛会議開催（86名参加）

・校区ごとに活動報告

【R 8. 1】第2回広陵ささえ愛会議開催（26名参加）

- ・活動報告（東校区お助け隊、六道山区ささえ愛）
- ・情報交換、意見交換

＊各校区の動き＊

西校区：六道山区で生活支援ボランティアが立ち上がる

平尾区で生活支援ボランティア設立検討中

東校区：東校区お助け隊(依頼件数25件、毎月定例会を開催)

北校区：校区会議9回実施、みんなでうたおう！イベント実施、

寺戸区で生活支援ボランティア設立検討中

真美1校区：校区会議1回実施、地域活動の情報共有

真美2校区：校区会議1回実施、地域活動の情報共有

(6) 福祉団体活動支援事業

老人クラブ連合会、遺族会、民生委員・児童委員協議会の一部事務と、手をつなぐ育成会の活動支援業務を担当しています。

(7) 自家用有償運送事業

広陵元気号自家用有償旅客運送予約システムオペレーター業務を受託しています。令和7年度の電話予約件数は3,989件でした。

(8) ファミリー・サポート・センター事業

子育ての手助けをして欲しい人「依頼会員」と、子育てのお手伝いをする人「提供会員」で、地域における子育ての相互援助活動を行う事業です。より豊かな子育てができるよう、子育てを応援する活動を行っています。令和7年度のマッチング件数は4件、活動件数は90件でした。

4. 共同募金事業サービス区分

毎年10月から3月まで、赤い羽根共同募金の募金活動を実施しています。住民のみなさんからいただいた募金で次のような事業を実施しました。

＜一般募金配分金事業＞

(1) 「ふれあい・いきいきサロン」の推進

地域住民が自主的に運営し、高齢者、障がい者、子育て中の親子などが地域で孤立することなく、地域住民との交流や仲間づくり、社会参加ができる場である「ふれあい・いきいきサロン」の運営を支援するため、貸出用レクリエーション用品の拡充や、設立助成や活動費の助成を行っています。

また、各サロンを訪問取材し、広陵町の広報誌に毎月活動内容の記事を掲載しました(21団体分)。令和7年度末現在、35団体が活動されています。

【R 7. 6】サロン交流会を実施（16団体30名参加）。

(2) ひとり親家庭 親子ふれあい交流事業

ひとり親家庭における親子のふれあいを目的として、夏休み期間中（8月）

に日帰り旅行を実施しました(神戸方面)。10世帯23名の親子が参加され、民生児童委員3名に同行いただきました。

(3) 地域福祉委員活動の推進

小地域における福祉の問題や要望を発見し、民生委員と連携しながら地域住民とともに「福祉のまちづくり」を進めていく推進役として地域福祉委員に活動していただいています(9地区19名)。

赤い羽根共同募金の街頭募金活動にも参加いただきました。

【R7.10】連絡会議を開催(認知症について学ぶ)

【R8.2】更新・委嘱式 畿央大学の松本泉美先生による特別講義
「地域福祉委員の役割と重要性」について学ぶ

(4) 広陵町共同募金委員会助成事業

共同募金配分金を財源として、社協登録ボランティア団体を対象に、助成事業を実施しました。5団体の応募があり、5団体に総額150,000円を交付しました。

＜歳末たすけあい募金配分金事業＞

(5) 歳末慰問事業の実施

歳末慰問事業として、生活保護世帯(94世帯)を対象に1世帯あたりお米2kg等を、要保護児童世帯及び準要保護児童世帯(157世帯)に図書カードを贈りました。

(6) 歳末社協イベント

広陵町民生委員・児童委員協議会やボランティアにご協力いただき、「社協もちつき大会」を実施し、町内の親子235名が参加されました。

5. 福祉資金貸付事業サービス区分

低所得の方に対する一時的な生活資金として、12か月以内の返済を条件に、5万円を上限として無利子での貸付を行っています。相談件数は21件あり、そのうち9件の貸付を実施しました。